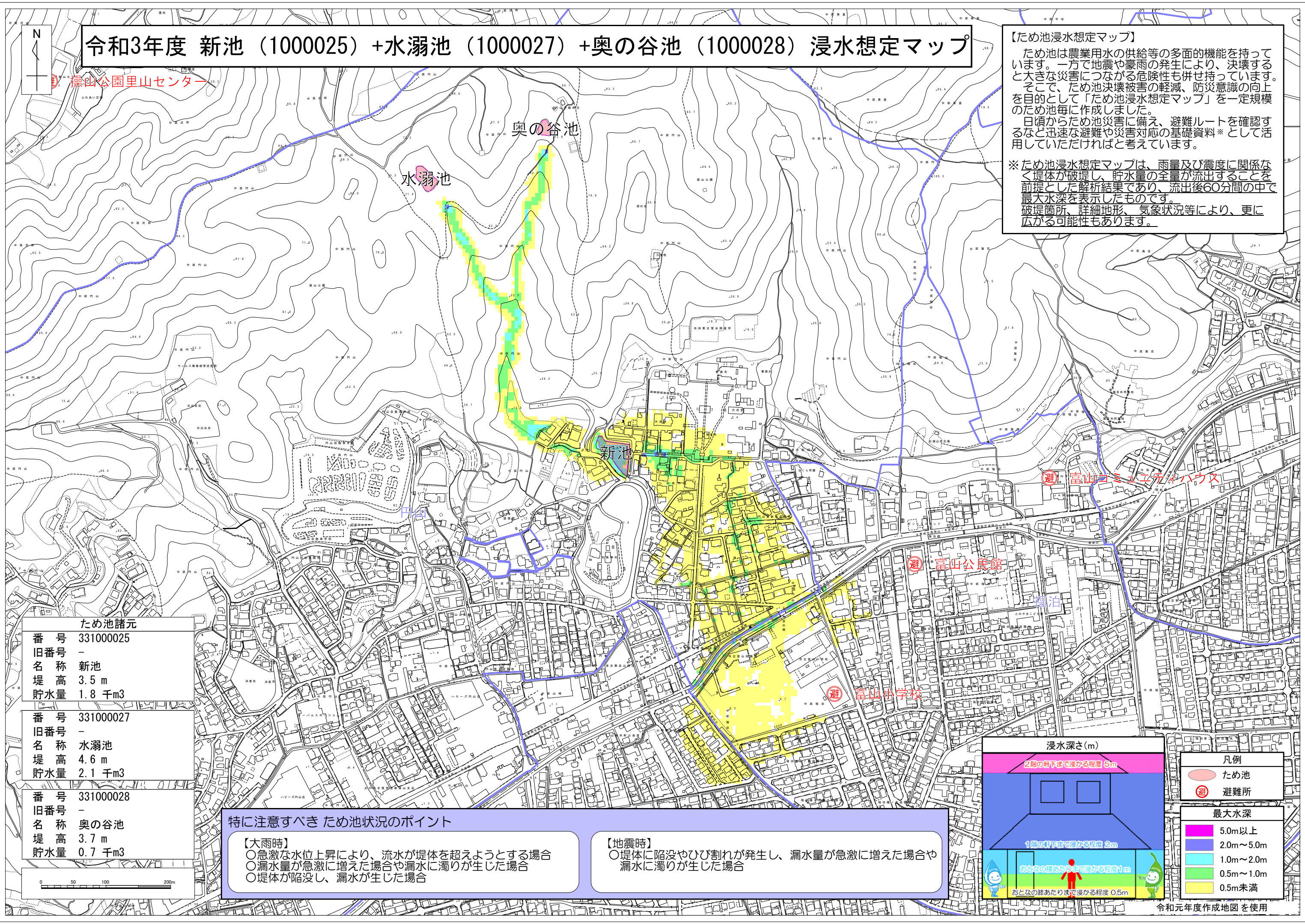


令和3年度 新池（1000025）+水溺池（1000027）+奥の谷池（1000028） 浸水想定マップ

【ため池浸水想定マップ】
 ため池は農業用水の供給等の多面的機能を持っています。一方で地震や豪雨の発生により、決壊すると大きな災害につながる危険性も併せ持っています。そこで、ため池決壊被害の軽減、防災意識の向上を目的として「ため池浸水想定マップ」を一定規模のため池毎に作成しました。
 日頃からため池災害に備え、避難ルートを確認するなど迅速な避難や災害対応の基礎資料*として活用していただければと考えています。

*ため池浸水想定マップは、雨量及び震度に関係なく堤体が破壊し、貯水量の全量が流出することを前提とした解析結果であり、流出後60分間の中で最大水深を表示したものです。
 破壊箇所、詳細地形、気象状況等により、更に広がる可能性もあります。

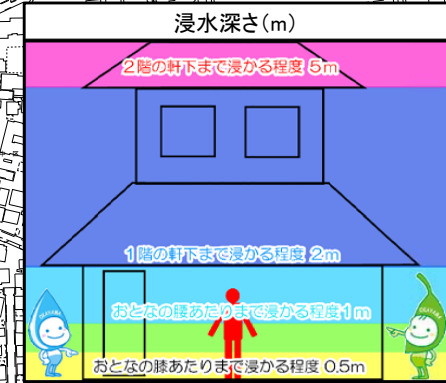


ため池諸元	
番号	33100025
旧番号	-
名称	新池
堤高	3.5 m
貯水量	1.8 千m3
番号	33100027
旧番号	-
名称	水溺池
堤高	4.6 m
貯水量	2.1 千m3
番号	33100028
旧番号	-
名称	奥の谷池
堤高	3.7 m
貯水量	0.7 千m3

特に注意すべきため池状況のポイント

【大雨時】
 ○急激な水位上昇により、流水が堤体を超えようとする場合
 ○漏水量が急激に増えた場合や漏水に濁りが生じた場合
 ○堤体が陥没し、漏水が生じた場合

【地震時】
 ○堤体に陥没やひび割れが発生し、漏水量が急激に増えた場合や漏水に濁りが生じた場合



凡例	
	ため池
	避難所
最大水深	
	5.0m以上
	2.0m～5.0m
	1.0m～2.0m
	0.5m～1.0m
	0.5m未満